

NAURU

A scenic view of a rocky coastline in Nauru. The foreground shows a sandy beach leading to a rocky shore. The water is a vibrant turquoise color, and the sky is a clear, bright blue. The rocks are dark and jagged, with some white patches. The overall scene is bright and sunny.

ナウルガイドブック

第三版改訂にあたって

本書は、国際機関 太平洋諸島センターの活動対象国である太平洋島しょ14か国のうち、ナウルの観光情報についてまとめたものです。

ナウルは、かつて豊富に採れた燐鉱石で繁栄した国です。現在は燐鉱石がほぼ採掘され尽くされてしまい、かつてのような経済的豊かさは失われてしまいましたが、ナウルの人々の親しみやすさや笑顔は健在です。

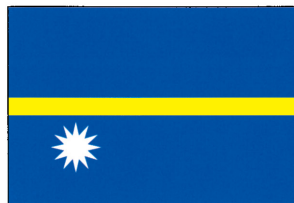
ナウルには、他の島国のように誇れるリゾートや観光地はありませんが、カフェでゆっくりと海を眺めたり、地元の人と一緒にピクニックを楽しんだりと素朴な楽しみ方ができる国です。

日本人にはほとんど馴染みのない国かもしれませんが、のんびりとした時間を過ごすには最適な国です。本書が皆様にとって、ナウルを少しでも身近に感じていただけるきっかけとなれば幸いです。

2024年3月

国際機関 太平洋諸島センター

ナウル



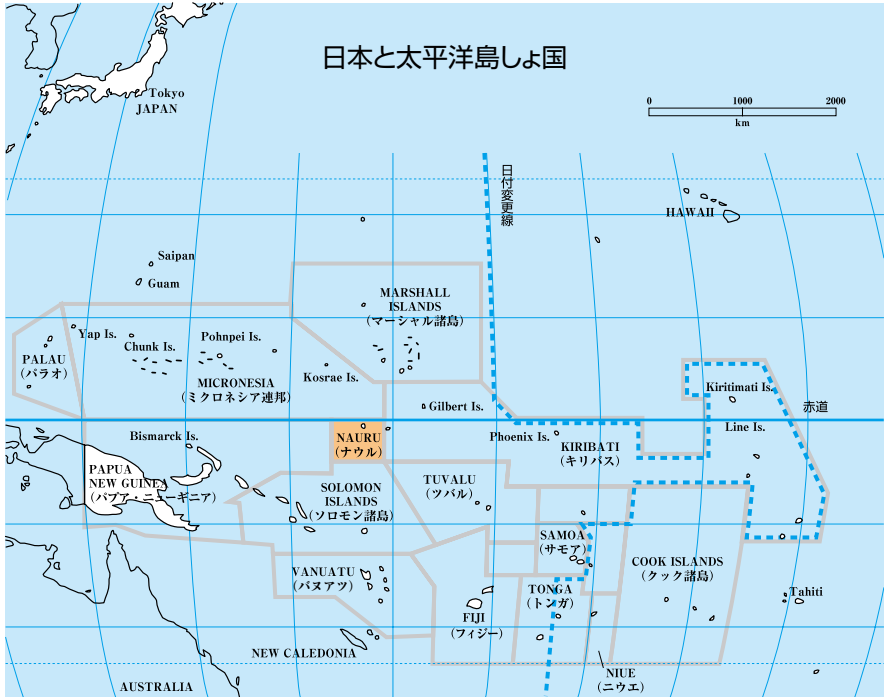
正式国名	ナウル共和国 (Republic of Nauru)
面積	21平方キロメートル
人口	約11,900人 (2023年 アジア開発銀行)
首都	ヤレン (Yaren)
民族	ミクロネシア系
主要言語	ナウル語・英語
宗教	キリスト教
政体	共和制
1人当たりGNI	16,920米ドル (2021年 世界銀行)
通貨	オーストラリアドル (AUD)
電話の国番号	(674) + (相手先の番号)

目次

1. ナウルの概要 2
2. 旅行者のためのアドバイス 5
3. 関係先リスト 24

ナウルの概要

ナウルは東京とオークランド(ニュージーランド)のほぼ中間、東経166度、赤道の南42kmの位置にある。国土面積は21km²であり、伊豆大島の約4分の1の大きさである。一周19kmの一つの島でできた国家であり、中央部は燐鉱石採掘跡が広がる台地になっている。日本にとっては、バチカン市国、モナコ王国に次ぎ世界で3番目に面積の小さい独立国である。



歴史

ミクロネシアの様々な島からナウルに人が渡ってきたと考えられているが、その具体的な時期は分かっていない。1798年に英国の捕鯨船ハンター号 (Hunter) のジョン・フェーン (John Fern) 船長が、西

洋人として初めてナウルに到達し、この島を「心地よい島 (Pleasant Island)」と呼んだと言われている。その後、1888年にドイツ領となり、その頃から「ナウル」と呼ばれるようになる。

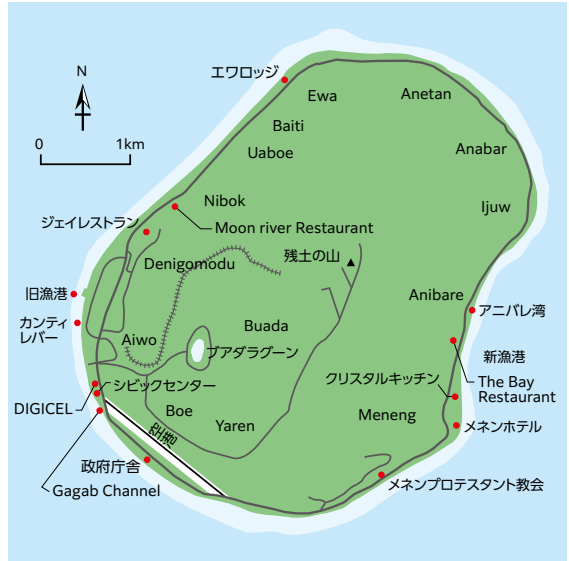
1899年に地質学者アルバート・エリス (Albert Ellis)によってナウルで燐鉱石が

発見され、1900年代に入ると本格的に燐鉱石の採掘が始まるようになった。1914年に第一次世界大戦がはじまると、その11月にはオーストラリア軍により占領され、大戦後の1920年にナウルはオーストラリア、ニュージーランド、英国による国際連盟の委任統治領となった。

その後、1941年12月の太平洋戦争勃発直後より、日本軍が爆撃を始め、1942年8月にナウルを占領した。1943年6月には日本軍により約1,200名のナウル人がトラック諸島（現ミクロネシア連邦チューク州）での労働力として強制移送が行われた。移送された者達の中には、後にナウル初代大統領となるハマー・デ・ロバードも含まれていたという。

1945年8月に太平洋戦争が終結すると、翌1946年1月31日にはトラック諸島より737人のナウル人が帰還した。そして1947年11月、ナウルはオーストラリア、ニュージーランド、英国の3国を施政国とする国際連合信託統治地域となった。この信託統治は実質的にはオーストラリアによるものであった。

その後徐々に採掘による国土の荒廃や採掘料支払の問題から独立の機運が高まり、1968年1月31日についにナウル共和国として独立することとなった。初代大統領にはデ・ロバードが就任した。



地理

1つの島からなっており、140～280mの幅で帯状に平地が島の周りをめぐっている。島の中央部は海拔60mに達する燐鉱石からなる台地となっている。既に燐鉱石の大部分は採掘され、残された珊瑚柱が一面に広がっている。

気候

気候は熱帯性気候で、気温は一年を通して日中は27℃～32℃、夜間は25℃と高いが、海風により熱さは和らいでいる。一年の大半は東からの貿易風が吹く乾期であり、11月から2月の間は西風が吹いて雨期となる。平均湿度は80%。

年間降雨量の平均は1,500mmである

が、年により様々で一定していない。過去の年間降雨量の最高は4,572mm（1940年）で、最低は300mm（1950年）となっている。降雨量は年による変化が大きく、近年では2022年に、100年ぶりとも言われる規模の干ばつに見舞われた。

政治

ナウルには政党は存在せず、政策課題よりも親類関係や個人の人脈が重視され、派閥が形成される傾向にある。2000年代初頭には、燐鉱石の枯渇の問題に加え、公務員への給与未払いやOECD諸国からオフショア・バンキングによるマネーロンダリングに関与していることに対する懸念が向けられた結果、ナウルは財政危機を迎えた。議会においても大統領指名に関して多数派工作が行われ、短期間の政権が続く時期も存在したが、2010年代以降は比較的安定している傾向にある。

外交の上では、地理的近接性から、豪州・NZをはじめ太平洋島嶼国との結びつきが強く、米国とも良好な関係を維持している。また中国と台湾の間で外交関係をしばしば変更するケースが起きている。当初、ナウルは台湾と国交を有していたが、2002年7月に断交し、中国と国交を樹立した。しかしながら、2005年5月、台湾との国交を再樹立したが、2024年1月、中国との国交を再開。



経済

ナウル経済は燐鉱石の輸出に依存してきた。1990年代に入ると、燐鉱石の枯渇が問題となり、一時は海外輸出がストップし、国家財政を悪化させていった。政府は財政を立て直すため、公務員の削減および賃金カット、海外資産の整理、国営のナウル航空の運賃縮小などの政策を講じる一方、アジア開発銀行（ADB）の協力の下、国営企業の公社化、民営化など経済・金融構造改革を実施していった。2005年より燐鉱石の二次採掘を開始し、輸出も再開されるようになった。また、ナウル協定による入漁料収入も後押しし、経済状況は改善しつつある。ナウル政府は、リン鉱石の二次採掘を安定的に行っていく限り、2000年代初頭から換算して約30年は採掘を継続できると予測している。

旅行者のためのアドバイス

アクセス

日本からナウルへの直行便はない。

ナウルに乗り入れているのはナウル航空 (Nauru Airlines)のみ。ブリスベン(オーストラリア)からの乗り継ぎが一般的。パラオ、ポンペイ(ミクロネシア連邦)、マジュロ(マーシャル諸島)、ナンディ(フィジー)、からも運行されているがフライトスケジュールがよく変更されるので注意が必要。最新情報はナウル航空のホームページ (<https://www.nauruair.com/>) を参照。



ビザ

ナウルのビザ取得及び入国に関する情報は、14～17ページを参照。ビザ申請用紙は太平洋諸島センターのホームページからダウンロードすることも可能。

(注) ビザ申請方法は予告なしに変更される場合がありますので十分注意してください。



時 差

ナウルが日本より3時間進んでいる。

通貨と両替

ナウルではオーストラリアドルが使用されている。

ナウルでは両替が不可能で、必ず入国前に、必要なオーストラリアドルを入手しておくこと。近年ではクレジットカードの利用が進んでおり、主要ホテルや比較的大きな店舗では決済が可能である。

通 信

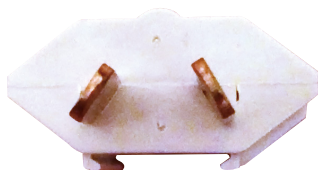
ナウルで携帯電話を使用したい場合は、SIMフリーの携帯電話を持参の上、街中心部にある通信会社DIGICELの店でSIMカードを購入する。

近年では日本の携帯事業者各社のデータローミング利用が可能となっている。

電 気

50Hz、240V。プラグはオーストラリアと同じOタイプ。

パソコン等日本の電化製品を持ち込む場合は変換プラグを持参すること。



交 通

ナウルでは公共のバスが島を周回しているが、運行時刻は決まっていない。

移動の基本は徒歩になるが、日中は日差しが強いので、近場以外は車での移動でないと大変である。ホテルのフロントでレンタカーの会社を紹介してもらうよう相談するのがよい。目安として一日80オーストラリアドル程度で借りることができる。

Ewa Lodge(ホテル)やスーパーマーケットを営む企業Capelle & Partnerでは、レンタカーの手配が可能。

マリンスポーツ

ナウルは島の周囲を海で囲まれているが、リーフが発達していないため、多くの場所では波が荒く海水浴やシュノーケリングは危険である。ダイビングも危険なので行うことはできない。安心して泳ぐには、地元の人でも利用するアニバレ湾やアイウォ地区の旧漁港に行くことをお勧めする。

釣 り

ナウルで釣りを楽しむには、ボートや釣竿の手配が可能かどうかをホテルのフロントに確認すること。

Ewa Lodge では釣船のチャーターが可能である。釣りとともに島近辺のクルージングを楽しむことができる。

観光スポット

アニバレ湾

Anibare Bay

島の東側のアニバレ地区にある、ナウルで一番景色が美しいと言われる海岸。この海岸は地元の人たちにも親しまれており、海水浴を楽しむ子どもたちや、週末にはピクニックを楽しむ人たちで賑わう。



メネンプロテスタント教会

Meneng Protestant Church

プロテスタントの教会。毎週日曜には島中から人々が集い、礼拝を捧げる。旅行者も温かく迎え入れてくれるのでぜひ訪れてみたい。



Gagab Channel

人工水路。魚を捕りに行くボートなどが
ここから海へ出る。



シビックセンター

Civic Centre

スーパーマーケットなどが入る商業施設。毎週土曜には、土産品から食べ物までさまざまな出店が屋外に並び、買い物客で賑わう。燐鉱石やココナッツの殻などで作ったアクセサリーなど、ナウルらしいお土産が見つかるかもしれない。



カンティレバー

Cantilever

アイウォ地区にある、貨物船に燐鉱石を積載する際に使われる延長ブリッジ。





ブアダラグーン

Buada Lagoon

島の中央部、ブアダ地区にあるナウルで最大の池。木々が生い茂っているため、散歩の途中で木陰で一休みするにはちょうどいい場所。



燐鉱石採掘跡

Mined-out Pinnacles

島の中央部、丘の上に広がる大地一帯。かつて燐鉱石が掘り起こされ、このように白い荒地の状態、珊瑚岩が林立している状態となっているが、近年では土地を埋め戻して平坦化する事業も進んでいる。



残土の山

Stockpile of Topsoil

採掘で掘り起こした表土を積んでできた小山。らせん状に頂上へ上る道が山の周囲を廻っており、その頂上からは島の全体が見渡せる。ナウルで一番標高が高い場所である。



山頂からの景色

ホテル

メネンホテル

Menen Hotel

メネン地区にある国営ホテル。空港からは車で15分ほどで海に臨んでいる。レストランを備えている。

客室、ロビー、レストラン内でインターネット利用可（有料）。

TEL : 674-557-8022

Eメール : menhotreservation@yahoo.
com



オドゥンアイウォホテル

Od-n Aiuwo Hotel

ナウルの中心街であるアイウォ地区にあるホテルでシビック・センターやビーチに近く便利。

TEL : 674-556-9203

Eメール : natasha.ehc@gmail.com,
hansolo.aubugiatu@eigigu.net

エワロッジ

Ewa Lodge

ナウル島北部のエワ地区にあり、

Capelle & Partnerによって経営されている。空港からは離れたホテルであるが、同じ建物にスーパーマーケット、カフェが併設されており便利。常に満室傾向にある。

客室でインターネット利用可 (有料)。

TEL : 674- 557-1055

Eメール : cpreservations@capelle.
com.nr

レストラン / カフェ

大きなレストランは、ホテルのレストランかアニバレ地区のベイレストランが知られているが、その他に小さな中国料理店が島内に点在している。

ベイレストラン

The Bay Restaurant

アニバレ地区にできた、緑がいっぱいの森の中にあるようなカフェ。店内は広々としている。





アニバレレストラン

Anibare Restaurant

メネンホテル内のレストラン(西洋料理、中華料理、インド料理)。フィジーのリゾートのレストランで修業したシェフが調理しており、どんな料理もとてもおいしい。



ムーンリバーレストラン

Moon river Restaurant

地元でも人気の中華料理屋。肉、魚、野菜、スープ、麺、ご飯など、一通りの中華料理が揃う。



ジェイレストラン

J' Restaurant

デニゴムドゥ地区にある中華料理屋。
チャーハンから麺類まで取り揃う。



クリスタルキッチン

Crystal Kitchen

ナウルでは新しいレストラン。ソロモン
諸島出身の女将さんがオーナーで、新鮮な
野菜からチキンまで色々と食べることがで
きる。国営メネンホテルの近く、少し坂を
上ったところに位置している。





NAURU ENTRY PERMIT REQUIREMENTS AND PROCEDURE

For all Nationals (except visa exempt countries)

All visitors travelling to Nauru will need to obtain a visa. Those who belong under visa fee exempt countries need not pay the visa fee but are required to lodge a visa application prior to travel and selected three countries are under visa waiver agreement. All visitors will need a passport that is valid for at least 6 months since their arrival in Nauru.

Countries that need to obtain a visitor's visa have a simplified visa procedure. These visitors do not need to submit proof of their criminal record or proof of their medical fitness along with their visa application as per the Nauru visa policy.

Your visa will be approved by Nauru's Department of Justice and Border Control, following all the rules under the Nauru visa policy guidelines. You will need a printed copy of this visa approval letter in order to enter Nauru.

To apply for a Visitor's visa to Nauru, you will need the following:

· A complete application form (this form is provided by Nauru Tourism via email or click here for the Nauru Tourist visa application form.

<https://naurutourismcom.files.wordpress.com/2023/05/nauru-tourist-visa-application-form.pdf>

- A scanned copy of your passport bio page.
- A scanned passport photo
- Travel tickets/Itinerary towards & return from Nauru.
- Hotel booking confirmation.
- Document to prove your current employment/occupation (If you are unemployed, you'll need to provide a bank statement)

- Covid-19 Vaccination Certificate – must be fully vaccinated at least 14 days prior to travel, and present at check-in.
- Application fee of *\$50 (AUD) per applicant (except for visa fee exempt countries and visa waiver agreement countries) can be paid via online or TT to below given Nauru Revenue Office bank account:

Account Name : Treasury Operating Account
BSB Number : 633-000
Account Number : 154 763 767
Bank Name : Bendigo & Adelaide Bank Limited
Bank Address : The Bendigo Centre, Bendigo Victoria 3559 Australia
Swift Code : BENDAU3BXXX

- Email all documents to the Tourism office in Nauru ahead of time for your visit as given below:

Cramer Cain : cramer.cain@brisbane.gov.nr
Cindrea Denuga : syn.naurutourism@gmail.com

Flight bookings to Nauru are done through Nauru Airlines website : <https://www.nauruair.com> or write to them directly via email: reservationsdist@nauruairlines.com.au; naurusales@nauruairlines.com.nr;
Phone contacts: +6745577000/ +6745577001.

Application for Visitor's Visa

About this form

Important – please read this information carefully before you complete your application. Once you have completed your application we strongly advise that you keep a copy for your records.

Before filling in the form, make sure you have all the required documents, and make sure you have read the information page carefully, particularly the section on visa conditions.

Making a valid application

To make a valid application you must:

- Use this application form (available from all Nauruan diplomatic missions, from the Department's website www.naurugov.nr/justice/visa.html or from the immigration and passport office in Nauru);
- Complete the form in English;
- Answer all questions truthfully;
- Provide all required supporting documents;
- Pay the required visa application fee;
- Lodge the application with the immigration office either through a representative in person or online at www.naurugov.nr/justice/immi/onlineapplication.html.

Any application that does not meet these requirements will not be a valid application and cannot be processed.

If you provide incorrect information or documents, this may affect whether you are granted a visa or not, or your visa may be subsequently cancelled.

Visa application fee

Payment must accompany your application unless you are exempt from paying. Payment can be made in cash at the Nauru Revenue Office or at the Nauruan mission or Nauruan consular post (if applying outside Nauru) or by electronic bank transfer (receipt being included with your online application or provided to the Immigration Office in Nauru in person by your

representative or to the Nauruan mission or Nauruan consular post by you).

Your visa application fee is non-refundable.

Supporting Documents

The documents you must provide are listed in Part E of this application form. Attach all documents with your application.

'Certified copies' of documents means copies authorised or stamped as being true copies of originals by a person or agency recognised by the law of your country. Do not provide originals unless you are asked.

All documents not in English must be accompanied by a certified English translation of the original.

Passport Information

Please note that your passport must not be due to expire within 3 months from the date of your application. If you change your passport after you have been granted a visa you must notify the Immigration Office in Nauru.

Options for receiving written communications

If you do not have access to email but do not wish to incur the delays associated with the postal service, you may request that all communications in relation to your visa application be delivered in hard copy to your representative in Nauru.

Conditions of Visitor's Visa

You must not engage in any activity for which a business visa may be granted or in any religious activity other than normal religious observance

While in Nauru you must not behave in a manner prejudicial to peace or good order.

“NAURU IMMIGRATION ADDITIONAL VISA ADVICE Please share the following documents to apply for visitor visa. You can ignore the requirement of police & medical clearance certificates mentioned part of documents checklist in the application

- 1. Filled visa application form (attached)***
- 2. Copy of passport biopage***
- 3. Confirmed travel tickets towards & return from Nauru. Also provide copies of itinerary/ticket if you are visiting other pacific Islands/countries apart from Nauru***
- 4. Hotel booking confirmation***
- 5. Document to prove your current employment/occupation***

Once we receive the above mentioned documents, we will review the documents and provide an invoice for visa fee payments (AUD 50 for one month single entry visa). The bank details for internet money transfer will be available in the invoice. The processing time after receiving complete documents/information is around 1 week “

Nauru Immigration Department 2017.

ナウル写真集

空 港



空港ターミナルの全体



免税店



みやげ物店で売られている切手



到着ゲート



ナウル航空のラウンジ





ラウンジ内



チェックインに並ぶ列



注意書き



滑走路



飛行機と搭乗客



ナウル航空



機内から



機内食

議 会



議会の建物



メネンホテル



国営メネンホテル（シーサイド）





ロビー



アニバレストランのコンチネタル
ブレックファスト



ホテル内の美容院



室内



レセプション



ホテル内の店



プール



ホテルからの眺め



国営メネンホテル（正面玄関側）

シビックセンター



のり巻きが販売されている



ココナツの殻で作ったアクセサリー



ナウルの風景



アニバレ湾



遠くにカンティレバーが見える



山頂



ナウル国立博物館 (蒸気機関車)



海辺で遊ぶ人々



丘から見た街並み



旧日本海軍の高角砲



消防署



政府庁舎



アニバレ港



西海岸の夕陽



磷鉱石採掘跡

関係先リスト

大使館

- 在ナウル日本国大使館（在フィジー日本国大使館が兼轄）

Embassy of Japan

住所：G.P.O.Box 13045, Level 2, BSP Life Centre, Thompson Street, Suva, Fiji

電話：(国番号679) 3304633

FAX：(国番号679) 3302984

貿易・投資コンタクト先

- Trade and Pacific Affairs Division, Department of Foreign Affairs & Trade

住所：Government Building, Yaren District, Nauru

電話：(国番号 674) 5573133

PIC の著作物に関しては、無断での複写・複製・転載はお断りしています。
さらに、転売・出品も禁止とさせていただきます。

ナウル

発行日：2024年3月31日

発行：国際機関 太平洋諸島センター

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町 3-22-14

明治大学 紫紺館1階

電話：03-5259-8419

URL：<https://pic.or.jp/>

Printed in Japan

NAURU

